

# 世界水準の山岳高原観光地づくりについて

山岳高原観光課

## 山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりの構想

### <長野県が目指す「世界水準の滞在型観光地」>

- 1 「地域の本質的なもの」がコンセプトとして確立している**
  - ・「地域の本質的なもの」を見極め、それをコンセプトとして確立している。
  - ・コンセプトを観光地づくりに落とし込み、洗練させていく取組を長期的に継続している
- 2 コンセプトに基づいた「独自の価値」が提供されている**
  - ・コンセプトに基づき、「地域の本質的なもの」を、顧客が高い満足度を得られる商品として磨き上げる。そのことを通じて「独自の価値」を提供している。
  - ・顧客がその価値を最大限に楽しみ、滞在しやすい受入環境が整っている。
  - ・価値の提供が自然環境と調和する形で行われ、長期的に維持されている。
- 3 世界の観光市場の中で認知されている**
  - ・世界の観光市場で「独自の価値」を持つ地域として広く認識されている。
- 4 マネジメント体制が整っている**
  - ・世界水準を目指す具体的な戦略がある。
  - ・観光事業者、行政、地域住民等と連携して観光地づくりをマネジメントする体制がある。
  - ・マネジメント体制が、自立的・継続的に運営されている。

### <基本的な県事業の構成>

- 1 目指す姿の実現に向けたビジョンづくり (H25~26年度)**
- 2 山岳高原観光地づくりを支える基盤整備 (H25年度~)**
  - ・「NAGANOモビリティ」の推進
  - ・おもてなしの推進
  - ・中核人材の育成
  - ・宿泊施設の機能表示
  - ・登山道、トイレの整備 等
- 3 3つの重点支援地域への支援 (H26年度~)**
  - ・受入環境整備への支援
  - ・有識者の派遣による助言
  - ・観光事業者の意識醸成 等
- 4 全国的な施策に係る国への提言**
  - ・長期滞在を促す休暇制度の改革
  - ・民間活動を活性化させるための規制改革

**大町市、白馬村、小谷村**

◆外国人旅行者でにぎわう白馬、立山黒部アルペンルート

【テーマ】  
通過型から周遊滞在型へ




---

**木曽町**

◆御嶽山信仰に育まれた独自の歴史文化、中山道の宿場

【テーマ】  
御嶽山と日本らしい文化の活用



**<3つの重点支援地域>**



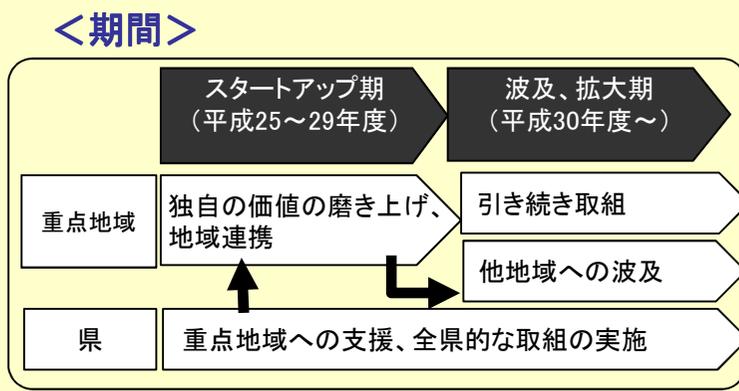
**飯山市を中心とする信越9市町村**

◆新幹線新駅の開業、自然アクティビティの聖地としての可能性

【テーマ】  
新幹線駅を核とした広域連携



※重点支援地域の取組を県内各地へ波及



## 重点支援3地域の施策

3地域が直近5年でモデルとしての成果を出し、他地域に波及させる

### 1 重点支援地域の取り組み状況

地域	テーマ	必要な施策	H26実施事業	
			ソフト	ハード(受入環境整備)
信越9市町村	「新幹線駅を核とした広域連携」	①コンセプトの精査と広域マネジメントセンターの構築	・「信越自然郷」のエリアコンセプトを深化（委託事業）	【飯山市】 ・斑尾高原第3駐車場トイレ整備 ・飯山新駅アクティブセンター新設 【山ノ内町】 ・エコパークサイン整備
		②9市町村連携によるワンストップサービスの実現	・飯山新駅に設置される観光案内所をワンストップ拠点とする構想	
		③広域の強みを活かした滞在型観光スタイルの構築	・二次交通の整備・強化を検討 →長電バスが新規4路線を予定 ・飯山新駅に「アクティビティセンター」を設置し、アウトドアの聖地を目指す	
北アルプス3市村	「通過型から周遊滞在型へ」	①広域エリアのコンセプトの明確化とブランディング	・有識者、関係者による北アルプス3市村ブランド委員会を設置(8月)し、平成27年度までにブランド戦略を策定、平成29年度までに実践に移す ・エリア名称を「HAKUBA VALLEY」とする方向で調整	【大町市】 ・扇沢市営駐車場整備 ・ライチョウ舎整備 ・Wi-Fi環境整備 【白馬村】 ・スノーハーブコース整備 【小谷村】 ・樽池自然園ビジターセンター・トイレ等整備 ・登山道、ウッドチップ整備
		②エリア全体でのマーケティング	・市村、観光事業者に対するマーケティング講座を実施(10月～、3回)	
		③通過する顧客の周遊・滞在化の促進	・長期滞在者向け商品の開発、二次交通の整備を検討 ・効果的なプロモーションを検討	
木曾町	「御嶽山と日本らしい文化の活用」	①観光客に対する“霊場”体験の提供	榊まちづくり木曾福島、スキー場運営会社、山小屋、住民(まちの案内人)を交えた懇談会を町内各所で開催し、意見を取りまとめ中	・御嶽山登山道整備 ・御嶽山不易の滝周辺整備 ・御嶽山6合目トイレ整備
		②心身の健康増進につながる観光の実現		
		③住民の誇りと愛着を示すおもてなしの実現		

※アドバイザー会議の開催(H26.9.17)

「山岳高原研究会」の委員(清水慎一座長、以下5名)に、県及び各重点支援地域の取り組み状況を報告し、今後の施策の方向性についてアドバイスをいただく。

### 2 重点支援事業全体スケジュール

